

## ✓ ウォーカブルな環境をつくるアプローチ

道路と沿道建物を一体的に活用し、滞留空間を生み出す「沿道活用」と、主に街区単位で自動車通行の時間帯規制や歩行者専用化を行う「交通制御」の2つのアプローチを必要に応じてバランスよく取り入れ、エリアに応じた最適解を求めることができる仕組みを作る予定です。

### 交通制御

#### 街区単位で車両通行の環境をコントロール

交通制御は、主に住宅系エリアや文化系エリアでの活用を想定しています。現状の自動車交通に影響しない範囲を前提としつつ、街区内の通過交通を排除して安全安心な道路空間とし、住民や子ども達が過ごせる地域の庭としての空間を作ることができるようになります。



#### 交通制御の例

- 周辺道路の速度制限（ゾーン30など）
- 対象道路の速度制限（狭窄部、コミュニティ道路など）
- 対象道路の通行時間規制（スクールゾーンなど）
- 車線の減少、歩道の拡幅（道路空間の再配分など）

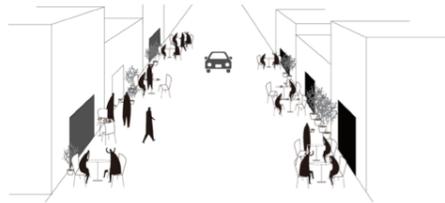
2つの  
アプローチ

最適な  
バランス

### 沿道活用

#### 沿道建物が軒先の道路を一体的に活用

沿道活用は、主に商業系エリアでの活用を想定しています。対象とする道路の沿道店舗が、軒先を建物と一体的に活用することで人々が滞留し、飲食等の活動が街ににじみ出す状況を作ることができるようになります。



#### 沿道活用の例

- 滞留空間の設置（パークレットなど）
- 食事施設の設置（オープンカフェなど）
- 情報発信機能の付加（デジタルサイネージなど）
- 催事の開催（ファーマーズ・マーケットなど）

## ✓ ウォーカブルな環境づくりに資する様々な取組み

ウォーカブルな環境を促進する事業は、様々な取組みが考えられます。これらの取組みは多岐にわたり、市の部署の垣根を越え関係する組織や街の皆さんと一緒に検討しながら、より効果的な取組みを実施していきたいと考えています。

### 多様なシーンの創出

- 多様な空間（駅前広場・公園・水辺等）の活用促進
- オープンカフェやマルシェ等の活用促進
- 写真映えする区域の促進
- アクリエひめじへのアプローチ 等

### 歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）

- 全国で初めて、大手前通りをほこみちに指定
- 今後本格的に大手前通りで道路の利活用等を推進

### 民地でのウォーカブルな空間形成の推進

- 建物の外観デザイン、高さや用途等を誘導
- ガイドライン等を作成し運用
- 車両出入口の位置を制限 等

### リノベーションまちづくりの推進

- 既存建物を新たな用途で再生
- 地元の事業者の開業支援 等

### 健康ポイント制度の創設

- 中心市街地の周遊コーススタンプラリー
- 歩数に伴うポイントを付与
- 歩数と予防できる病名を明示した看板の設置 等

### パーソナルモビリティの導入

- パーソナルモビリティ（キックボード等）の導入
- 移動が気軽に、楽にできる 等

### 職住近接等のニューノーマルに対応

- Free Wi-Fi の導入
- テレワーク拠点の検討 等



# 姫路市ウォーカブル推進計画

一街に選択多様性をつくり、豊かな生活シーンを生む

## 概要版



# Walkable is Selectable

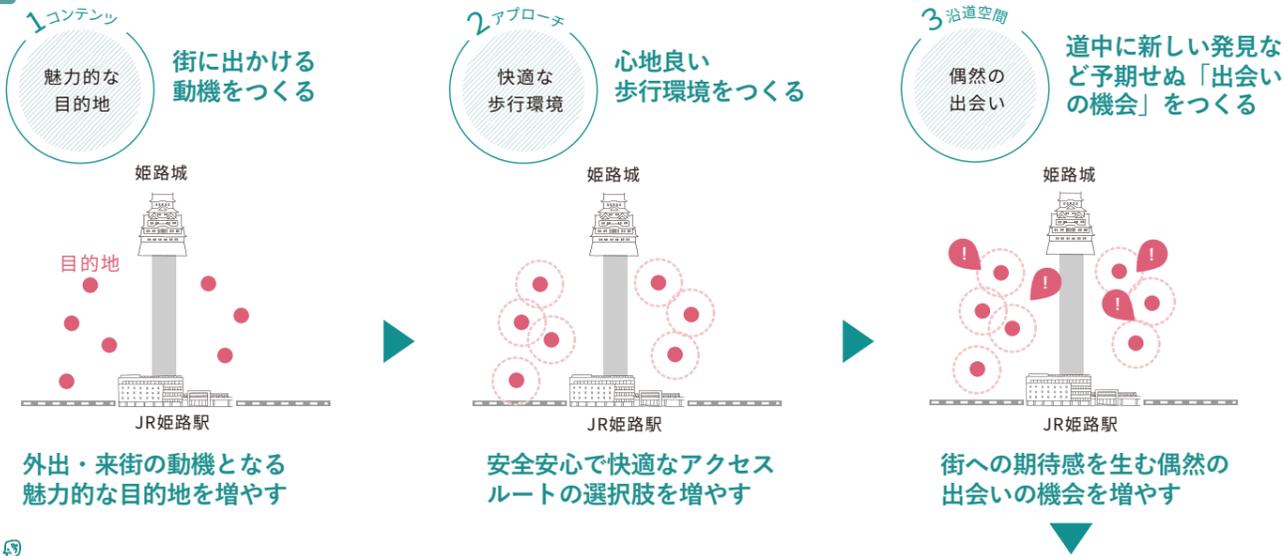
ウォーカブルな環境の目標：居心地が良く歩きたくなるまちなか

**目的：街に選択多様性をつくり、豊かな生活シーンを生む**

姫路に暮らす人、訪れる人が、街の中に多様な居場所の選択肢をもち、街への誇りと愛着がもてる魅力的なまちなかを実現します。

「ウォーカブル」というのはより豊かな都市環境を築いていくための1つの手段であり、最終的には身近な生活圏が豊かに（Quality of Lifeの向上）なることで、住みたい街・住み続けたい街に（周辺都市からは訪れたい街）となり、人口減少社会においても「選ばれる都市」となることが重要になります。そこに暮らす人々が街の中に多様な居場所の選択肢や街への誇りと愛着を持てることが大切です。

## 3つのSTEP



街への期待感が高まり、歩きたくなる歩くことが暮らしを豊かにする都市へ

## ウォーカブルな環境になることで期待される効果

ウォーカブルな環境になることで、魅力的で豊かな暮らしができ、安心して歩ける環境となり、誰もが健康に過ごすことができる等の効果が期待され、姫路の街の価値向上へと繋がります。

**ウェルネス** ・健康増進  
・生活の質の向上 等

日々の生活の中で歩いて外出することにより、生活習慣病等の発症リスクの低減やフレイル予防が期待されます。また、外出機会が増えることで地域での交流が増え、高齢者等の孤立を防ぐ効果も期待されます。

**まちづくり**

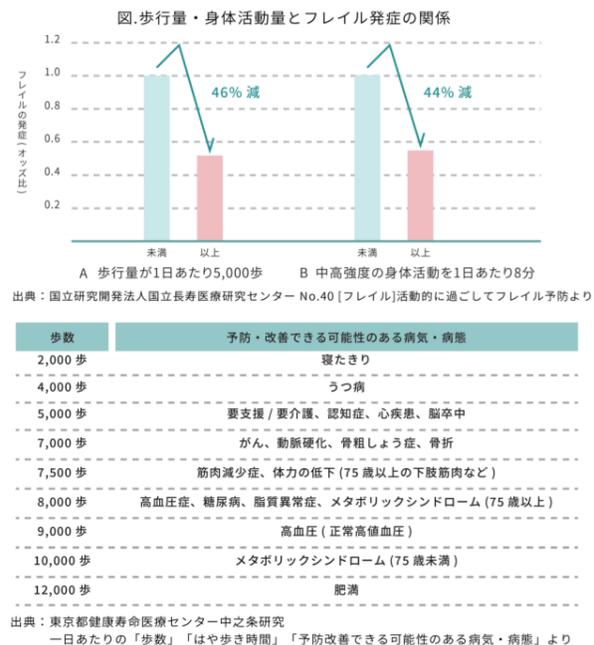
出かける動機ができることで街を歩く人が増え回遊性が向上し、エリアの価値が高まるのが期待されます。

**観光**

地域の人の暮らしが街ににじみ出すことで豊かなシーンが増え、観光客の滞留時間と行動範囲が広がることが期待されます。

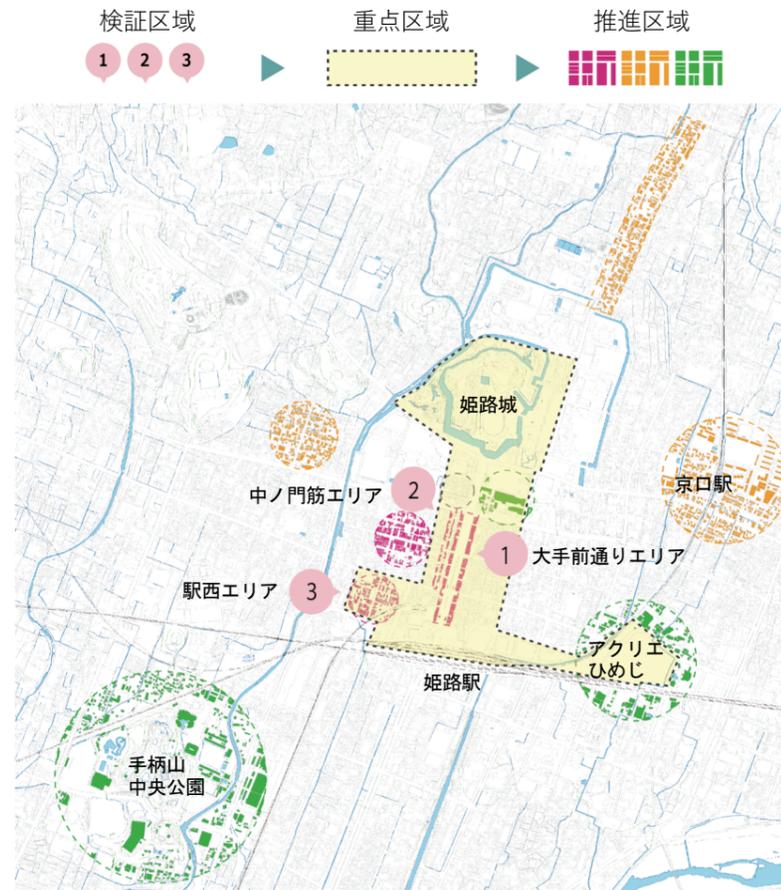
**子育て**

道路が安心して遊ぶことができる場所の1つとなることが期待されます。



## 取組方針

3つの区域と、3つの時間軸で段階的にウォーカブルな環境づくりを推進していく



6~10年 **長期** 推進区域(広域)

長期的には、中心部にウォーカブルなエリアが増え、様々な目的地が生まれ、多様な人が集まり、エリア間を歩いて楽しめる街となることを目指します。

- ・推進区域全体で実現
- ・中心部全体で歩行が増加
- ・ウェルネスな都市環境の実現

10ヶ所に拡がる

3~5年 **中期** 重点区域(中域)

中期的には、短期の取組成果をもとに、中心部の重点区域においてウォーカブルな環境づくりを進め、行きたくなる魅力的な目的地が増えネットワークが広がることを目指します。

- ・プログラムを重点地区で展開
- ・検証区域以外でも実現
- ・面的な界隈性が生まれる

3ヶ所+αに拡大(重点区域に拡がる)

1~2年 **短期** 検証区域(狭域)

短期的には、検証区域として複数場所で象徴的なプロジェクトの目指すシーンを実験し、ウォーカブルな取組の機運を醸成していき、展開するための仕組みを構築します。

- ・複数の検証区域で社会実験
- ・成果を踏まえプログラムを構築
- ・目指すシーンが可視化される

3ヶ所からスタート

## 計画推進のためのプログラム

最終的に目指す姿を実現するためには、長期のイメージを皆さんと共有しつつ、短期的にできることから小さく初めて一歩一歩進め、その道筋を具体的に描くことが重要です。そのため、理念や目標、エリアの考え方などを中心にまとめている戦略としての本計画に加え、今後実際にその環境を増やしていく戦術としてのプログラムをつくっていきます。

